

健診検査センターニュース

No.513 号

運営委員会より

5 月 15 日（木）平成 26 年度第 2 回の委員会を開催いたしました。

1. 特定健診 4 月の実施件数は、下記のとおりでした。

	4 月受診数（前年比）	累 計（前年比）	函館市国保受診率 4 月現在 0.34% / 目 標 30.0% 達成率：1.1%
函館市国保	187 人（－ 20）	187 人（－ 20）	
後期高齢者	31 人（－ 3）	31 人（－ 3）	
その他	49 人（－ 13）	49 人（－ 13）	
合 計	267 人（－ 36）	267 人（－ 36）	

個別健診実施機関：24 施設／登録機関 106

- 4 月より、東部保健事務所管内の一部集団健診と協会けんぽ・組合等の個別健診が始まりました。今年度も函館市国保の受診率 30% を目標に努めてまいります。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。
- 5 月下旬より、特定健診の案内と函館市国保・後期高齢者の受診券が配布となります。特定健診の「問診・受診票」の部数が足りないようでしたら、ご連絡ください。お届けいたします。

2. 26 年 4 月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	4 月（前年同月比）	25 年度累計（前年比）
一般検査収入	93.0 %	93.0 %
健診収入	77.0 %	77.0 %
合 計	89.6 %	89.6 %

- 3. 平成 25 年度の収支決算見込の報告がありました。詳細な説明がされ、協議の上承認されました。

《 ちょっと一言 》

4年に一度のサッカーの祭典！！ワールドカップも、とうとう、来月に迫ってまいりました！！
もう、わくわくですね！！

今年はじめに起こした膝の怪我のために、今シーズンは、まだ、函館社会人サッカーリーグの公式戦に出場できなくて、寂しい想いをしております。
毎度、平山です。

ワールドカップもそうですが、来月から、本格的に特定健診が始まりますね！！
今年の目標は、函館市国保の受診率30%を目標に掲げています。
どうぞ、皆さん、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

では、引き続き、ちょっとしたニュースを・・・。

「レセプト審査の強化で減点が増加中」

審査支払機関がコンピュータによる審査を本格的に導入し、これまでなら見逃されていたであろうレセプトが減点されるケースが増えているらしいです。その内訳を見ると、増えているのは「突合点検」および「縦覧点検」による減点のようです。

「突合点検」は医療機関からの医科レセプトと保険薬局からの調剤レセプトを照合して、医薬品の処方処方の妥当性をチェックするもので、「縦覧点検」は同一患者の同一医療機関でのレセプトを最大で過去6カ月分参照して審査するものです。いずれもコンピュータの利用によってレセプト全例に可能になったとのこと。

注意点をいくつか Pick UP してみます。

- 1) 病名の記載漏れ：これは、もちろんですね！！
 - 2) 適応症の違い：例えば、アーチスト 2.5mg 処方、心不全の病名
 - 3) 投与日数の過剰：例えば、睡眠薬等の35日分投与等。
 - 4) 算定ルールの誤り：長期投与加算の算定等
 - 5) 算定間隔の誤り：3ヶ月に一度の検査を2ヶ月で等
 - 6) 過剰検査：これは、よくわからない事がありますね！！（笑）細かい、添付文書の適応病名の違いとか、きちんとしなければ一発ですね！！
- 皆様、注意いたしましょうね！！

では、今月はこの辺で！！

（文責 広報部 平山繁樹）

新規実施項目のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
さてこの度、下記の検査項目を外部委託項目として新規受託することとなりましたので、お知らせいたします。何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

開始日：平成26年4月21日（月）より開始

開始項目：2485 アレルゲン刺激性遊離ヒスタミン（HRT）
除去食用

依頼方法	総合検査依頼書の備考欄に、「HRT 除去食用」とご記入ください。
検査方法	細胞反応測定法
採取容器 (採取量)	◎ EDTA-2Na 入り (血液 各 2.0ml)
保存方法	冷蔵
基準値	下記判定基準参照
所要日数	4～6日
検査実施料	815点（各163点×5） （D015「血漿蛋白免疫学的検査」の16）
検査判断料	144点（免疫学的検査判断料）
備考	曜日指定 凍結保存は避けてください、検体は採取後、午前中にご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。受託可能日は、月～ 金曜日 です。判定基準、アレルゲン一覧表は下記をご参照ください。

▼アレルゲン刺激性遊離ヒスタミン（HRT）（判定基準）

クラス	判定
4	陽 性
3	
2	
1	擬陽性
0	陰 性

▼アレルゲン刺激性遊離ヒスタミン（HRT）アレルゲン一覧

項目 コード	検査項目名	含まれるアレルゲン
2485	HRT 除去食用	卵白、牛乳、小麦、ピーナッツ、エビ

●臨床的意義

HRT は、好塩基球にアレルギーを反応させることにより遊離されるヒスタミンを測定する検査です。生体内で起こる反応に最も近い *in vitro* の検査であり、侵襲性が低いという特徴から、負荷試験前の予測などに使用されています。

▼疾患との関連

●I型アレルギー

●参考文献（3項目共通）

西 裕史, 他: 医学と薬学 59 (49) : 663~669, 2008. (検査方法参考文献)
伊藤 節子, 他: 医学と薬学 59 (5) : 917~924, 2008.

開始日 : 平成26年5月1日(木)より開始

開始項目 : 3479 リン酸化タウ蛋白
3480 タウ蛋白

検査項目	リン酸化タウ蛋白	タウ蛋白
依頼方法	総合検査依頼書の備考欄に、「リン酸化タウ蛋白」とご記入ください。	総合検査依頼書の備考欄に、「タウ蛋白」とご記入ください。
検査方法	ELISA	
採取容器 (採取量)	L4 (髄液 0.5ml)	L4 L5 (髄液 1.0ml)
保存方法	凍結	
基準値	50未満 (pg/mL)	1200未満 (pg/mL)
所要日数	事前にご確認ください。	12 ~ 23日
検査実施料	660点 ※1:尿・糞便検査	
備考	本検査は、認知症の診断目的のための検査です。他項目との重複依頼は避けてください。指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器で提出してください。	本検査は、クロイツフェルト・ヤコブ病の診断目的の検査です。他項目との重複依頼は避けてください。専用容器(L4)に採取した検体は直ちに凍結し、コンテナ容器セット(L5)に入れ、凍結保存してください。指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器で提出してください。

●リン酸化タウ蛋白

リン酸化タウ蛋白を特異的に測定することにより、アルツハイマー型認知症による神経変性の指標となり、神経変性を伴わない認知症やうつ病等の精神疾患を除外でき、アルツハイマー型認知症の鑑別診断に有用です。

▼関連疾患

- アルツハイマー型認知症
- 軽度認知機能障害

▼容器取り扱い方法

専用容器(L4)に採取し、必ず凍結保存してください。

●参考文献

1. B Van Everbroeck et al : J Neurol Neurosurg Psychiatry73 : 79~81, 2002.
(検査方法参考文献)
2. 臨床的意義参考文献：徳田 隆彦：SRL 宝函 33 (4) : 19~27, 2013.

●タウ蛋白

脳脊髄液中のタウ蛋白(hTAU)を特異的に検出し、クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)の診断に有用です。

▼関連疾患

●クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)

▼容器取り扱い方法

専用容器(L4)に採取した検体は直ちに凍結し、コンテナ容器セット(L5)に入れ、必ず凍結保存してください。

●参考文献

T.Nishimura.et al.;Methods Findings20;227~236, 1998. (検査方法参考文献)

専用容器	コンテナ容器セット
(容器記号) L4	(容器記号) L5
	
貯蔵方法 室温 有効期間 4年	貯蔵方法 室温

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
TEL 0138-57-6571・FAX 0138-57-6580
E-mail : info@hma-labo.jp